

～第7回 九頭竜川水系足羽川ダム事業費等監理

委員会の審議結果（概要）について～

1. 開催日時：平成26年7月31日（木） 15:00～16:30

2. 開催場所：足羽川ダム工事事務所 1階 第1会議室
福井市成和1丁目2111

3. 委員：◎荒井 克彦（福井大学名誉教授）
安陪 和雄（土木研究所 水工研究グループ グループ長）
桑原 美香（福井県立大学経済学部 准教授）
角 哲也（京都大学 防災研究所
水資源環境研究センター教授）

◎ 委員長（*50音順・敬称略）

4. 審議結果

●委員からのご意見及び助言

○付替県道、工事用道路の検討については、できる限り橋梁を補強土壁等に変更することでコスト縮減を図る方針が良い。

○水海川導水路については、トンネル断面を縮小することは有効と思われるが、様々なリスクを踏まえ、呑口部の検討や維持管理上必要な検討を行う。

○水海川導水路の地下水低下対策が必要となる区間については、社会的影響と対策費用等、総合的な比較を実施し検討を行う。

○ダム本体設計については、導水路を有する流水型ダムである足羽川ダムの特徴を考慮し、コスト縮減・工程短縮の検討を行う。

○ダム洪水調節地の立木伐採の範囲については、試験湛水期間や洪水時の流木による影響を考慮の上、検討を行う。

○工期縮減がコスト縮減につながるため、具体的な工程計画を示し、今後議論を行う。